

## JMAT 新潟市医師会第6班活動報告

新潟市医師会第6班

藤村夏美

新潟市医師会チームの第6班として、5月12日から14日まで、宮城県石巻市に行ってきた。5月12日の朝6時に、新潟県庁で看護師の奥田さんと、薬剤師の佐藤さんと、医師会事務局の山上さんと集合して、新潟県が用意してくれたバスに乗り、石巻に向かって出発しました。途中で磐梯山パーキングエリアと菅生パーキングエリアで休憩をとり、10時過ぎには石巻圏合同救護チームの本部がある石巻赤十字病院に到着しました。救護班としての登録を済ませた後で、ミーティングに参加して簡単な状況説明を受けたあと、活動拠点のある門脇中学校へ向かいました。市内の道路は渋滞がひどく、やがて津波によって一階部分が破壊された家屋が散見される市街地に入ってきました。山上さんの話では、第1班のメンバーとして参加した3月31日の時と比べると、市内は瓦礫の撤去がかなり進んでいるとのことでしたが、大破した乗用車があちこちに放置されている惨状を目のあたりにして、思わず息を飲みました。

前班である柏崎市刈羽郡医師会チームから引き継ぎを受けた後、お弁当を皆で食べ、14時から16時までの予定で診療を開始しました。8人が受診しましたが、そのうちの5人が上気道感染で咳をしていました。避難所のすぐ近くのコンビニの中にある調剤薬局が営業を再開していましたので、慢性疾患の患者の処方箋は、できるだけ調剤薬局に廻すようにしました。初日としては順調な出だしでした。渋滞の続く市内を進んで石巻赤十字病院に戻り、午後6時から開始されたJMATチームの全体ミーティングに出席して情報交換をした後で、松島の宿舎に向かいましたが、東三陸自動車道の大渋滞に巻き込まれてしまい、午後8時過ぎになってようやく宿舎に到着しました。初日を振り返りながら夕食をとり、明日に備えて早めに就寝しました。

2日目は朝6時50分に宿舎を出発して、午前9時から11時30分まで門脇中学校の救護所で診療を

行いました。高血圧症と腹痛と副鼻腔炎の患者がそれぞれ1名ずつ訪れました。副鼻腔炎の患者は継続的な治療が必要と考えられたので、地域の開業医に受診するように話しました。午後の診療は前日と同様に、14時から16時まで行いましたが、疲れ目と湿疹の患者が1名ずつ来院しただけでした。午後6時からの石巻赤十字病院でのミーティングに出席してから松島の宿舎に帰りましたが、やはり渋滞が激しくて午後8時過ぎにやっと到着できました。今日の出来事を振り返りながら、ゆっくりと夕食を取ったのち就寝しました。

3日目は前日と同様に6時50分に宿舎を出発して、風光明媚な松島湾をあとにして石巻に向かい、石巻中学校でのエリアミーティングに参加したのち、門脇中学校の救護所での最後の診療を行いました。上気道炎の患者2名と高血圧の患者2名が訪れました。上気道炎の患者には、長引く場合は肺炎の心配があるので、石巻神社のすぐ近くで診療を開始している石巻市立病院の仮診療所で検査を受けるように勧めました。高血圧で受診した70才の女性は、津波で壊滅した南浜町で唯一破壊を免れて残った内科医院が、かかりつけ医でした。その院長先生は御無事だったとのことでした。震災から2か月が過ぎていましたが、避難所では食事は夜に弁当とパンとおにぎりが配達されるだけで、弁当は夜に食べて、パンとおにぎりは朝食として食べるという厳しい状況で、野菜を摂りたいときは漬物を、汁物が欲しいときは味噌汁を自分で買っているとのことでした。野菜が足りないので野菜がたっぷりの炊き出しが望まれます。今後は、トマト、キュウリ、レタス、リンゴ、バナナ等の配達もあるといいかも知れません。11時30分以後は、川合千尋先生のチームに引き継ぎをしたのち、石巻赤十字病院の本部に報告を済ませたのち、そこで昼食を済ませて帰路に着きました。メンバーの皆様の御協力に心から感謝いたします。